

2024年(令和6年)
5月号(第36号)
発行：東志賀学区
連絡協議会



学区の子育て広場「ともだちつくろう」には毎月、たくさんの親子が参加しています。交流会の始まりは19年ほど前。先輩の主任児童委員さんたちが、お子さんの遊び場づくりはもちろん、孤独な子育てにならないように、ママのお友達づくりにつながればとの思いで始めてくれました。
(記事・主任児童委員の天野美帆さん)

ともだち
つくろう！

キッズもママも子育て広場へ

♥年度内の行事予定♥

- 6 / 5 リズム遊び
- 7 / 3 水遊び
- 8 / 7 水遊び
- 9 / 4 防災を考えよう
- 10 / 2 保育園見学会
- 11 / 6 ベビーマッサージ
- 12 / 4 クリスマス会
- 1 / 8 乳幼児応急手当て
- 2 / 5 移動児童館
- 3 / 5 ベビーマッサージ

参加希望の方はメールで保護者の名前、お子さんの名前(ひらがな)、月齢を添えてお申込みください。
higashishiga_baby@yahoo.co.jp

お問い合わせは東志賀民生主任児童委員の天野さん＝☎090-6766-9188

私自身、子どもをきっかけに仲良くなったママ友とは、子育てのことや仕事のことなど、色々なことを相談できる友人としてずっとお付き合いしています。子育て広場でLINEを交換していたり、仲良くなったり楽しくおしゃべりをしたりしているママたちの姿を見るとうれしくなります。
最近では子育て広場に参加していたママから「ベビーマッサージの資格を取得したので子育て広場で企画したい」というお話がありました。少しずつ輪を広げ、

気軽に来てね！

ベビーマッサージの他、図書館司書さんの読み聞かせ、リトミック、リズム遊びなど、盛りだくさんの内容で開催できることになりました。主会場は学区コミュニティセンター。参加は無料で、0〜3歳児と保護者が対象です。交流の場として、ぜひご参加ください！



能登半島地震の復興支援

学区義援金 19万3026円

お正月の地震以降、苦労を重ねながら復興に歩む能登の人たち。学区の義援金には19万円余が集まり、北区社会福祉協議会を通じて被災地に届けられました。温かいお気持ちに感謝いたします。

今月の題字
5月号は東志賀小学校5年の水谷沙佑莉さんが、5月5日の「子どもの日」をイメージしたかわいイラストを届けてくれました。5月号は、キッズにちなんだ話題が満載です。そんな新聞にぴったりの題字をありがたうございました。イラストは世代を問わず、いつでも募集中です。

毎月第1土曜 僕らの公園きれいに！

つながり町そうじ

学区の健康つながり町そうじ。毎月第1土曜の朝8時半から、有志の住民で東志賀公園や神社を掃除しています。4月は公園を通りがかったキッズも、吸い殻やお菓子の袋などのごみを拾ってくれました。6月1日(土)は午前8時半から9時半まで市内一斉掃除「クリーン環境デーなごや」です。各町内会を通じて、ぜひご参加ください。



地元情報多彩 学区HP開設

東志賀学区のイベントや地元で活動する団体などの情報が満載のHPが開設されました！ネット上で「東志賀学区」と「Jimdo」の2つのワードを入力して検索してください。2次元コードからもページを開けます。学区HPは有志のメンバーが作成し、更新してくれています。地域活動が活発な東志賀学区。最新の情報を確認してみてください。



電子版新聞 ここから！

過去の東志賀ヒーローズとボランテイア通信「ささえあいたより」はここから読むことができます！



笑顔いっぱい！ 幼児教室「くれよん」

幼児教室の「くれよん」は令和6年度も元氣いっぱいですタートを切りました。くれよんでは、幼稚園や保育園に入る前の、1歳半〜3歳までのおともだちを募集しています。

入園前の子どもたちは毎週金曜日、東志賀コミュニティセンターで、ママと離れてみんなで楽しく過ごしています。七夕や運動会やクリスマス会など、楽しいイベントも盛りだくさんです。

子どもを預けるママたちにとっては貴重な自分時間になります。週1回ですが、こどもと離れて1人で買い物に行くもよし、おともだちとお茶するもよし、ぼーつとするもよしです。

金曜日の10時〜12時に東



入園前、ママと離れる練習／ママは貴重な自分時間



志賀コミセンの1階和室で開いています。見学ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

連絡は、くれよん代表の小川滋子先生 ☎090(5618)7724 へ。
日ごとの活動はHP(2次元コードから)で確認できます。



神社の境内ピカピカ



「人が集う場へ」心意気！

学区にある兒子八幡社を守る氏子総代会の役員さんや有志の住民が境内の清掃活動を続けてきています。草刈りやごみ拾い、高所作業車での枝打ちも。入学祈願祭や例祭、「ちごいち」などで神社を訪れる住民は多いはず。ボランティアの心意気が、人が集まるきれいな神社を支えています。

安田さんの野鳥日記 オオルリ @東志賀公園



住民の安田耕治さんが4月4日に夏鳥のオオルリの撮影に成功。4月初旬の飛来は珍しいとみられます。安田さん「珍客」で繁殖に向かう途中「珍客」で東志賀公園で初確認の「珍客」です。

街のニュース&題字募集中です！

■電話＝学区長の山崎悦男さん 090(1277)3131
■メール＝天野さん、神藤さん heroeshensyuubu@gmail.com

アメリカ編集室便り



先が見えないほどの長い、長いエスカレーター。編集長が暮らすワシントンの地下鉄の駅はとても深い位置にあります。ちなみに片道、2分以上かかる駅も。なんでこんなに深く掘ったの？ 不便じゃない？ 素朴な疑問の答えは、戦争で核兵器の攻撃を受けた時に避難所として使うためとか。悲しいけれど、今も世界のあちこちで戦争が続いています。(鈴木龍司)



ささえあい：2024/05/04

健康つながり町そうじ



今日の町そうじは17名と多くの方が参加して、児童八幡社の境内を掃除しました。草刈り機で伸び始めた雑草を刈り、籠手でかき集めてゴミ袋に入れる。を分担して2時間ほどできれいにになりました。写真右側の後ろ姿の方はなんと94歳！地域活動やサークル活動をしていると健康寿命が延びるという研究結果があるそうです...

東志賀女性の会・会員募集中！



ただいま、女性の会では会員募集中です！東志賀学区の女性であればどなたでも参加できます。仲間と一緒に体操、フラワーアレンジメント、手芸などの教室や、日帰り旅行のお楽しみ、時にはウォーキング大会で腰汁の吹き出しをして地域貢献もします。ワイワイガヤガヤ、いつも笑いがいっぱい女性の会です。まずは見学からでも大丈夫！

こども食堂



3月27日子ども食堂がありました。「ぶた生味噌、サラダ、スパゲティ、きんぴら、タコ酢、野菜ジュース、ゼリー」子どもさんが15名と大人10名が参加してくれました。

2次元コードでのアクセスも便利！



検索ワードは「東志賀」「Tochiwa」

待望の学区HP開設！

「東志賀学区へようこそ！」ー。読者のみなさん、新しく開設された学区のHP（ホームページ）は、もうチェックしましたか？地元で活躍する団体や、多彩なイベントなど、東志賀ライフを満喫するための情報が満載です。ページの作成と日々の更新作業の中心役を担ってくれている天野美帆さんにHP開設の経緯と思いを聞きました。



知ってワクワク東志賀



「学区のHPがほしいね」。雑談で出たアイデアを形にしようとして、天野さんは市の講座でHPの基礎知識を学び、有志の住民と準備を始めた。古屋大生も助っ人として協力。天野さんは「的確なアドバイスをくれて、助かりました。」

有志が手作り

「内容の拡充とマメな更新で、より見たいと思われたいHPにしたい」と意気込んでいる天野さん。「素人なので温かく見守り、時にアドバイスをくれるとありがたいですね」と話す一方、更新作業を手伝ってくれる住民の確保を課題に挙げます。まずは力作のHPをチェックしてみてください！更新を手伝っても良いよという方は編集部（連絡先は裏面）にご連絡ください！

見やすさを重視 更新の仲間募集

「内容の拡充とマメな更新で、より見たいと思われたいHPにしたい」と意気込んでいる天野さん。「素人なので温かく見守り、時にアドバイスをくれるとありがたいですね」と話す一方、更新作業を手伝ってくれる住民の確保を課題に挙げます。まずは力作のHPをチェックしてみてください！更新を手伝っても良いよという方は編集部（連絡先は裏面）にご連絡ください！



学区恒例の「わが街ウォーキング大会」が5月19日に開かれ、大勢の住民が新緑を味わいながら、学区内のコースを歩きました。イベントは、住民の交流と健康づくりのために学区の体育委員会の皆さんが企画し、当日の受付係、誘導役も引き受けてくれていました。あいにくの空模様でしたが、多世代の住民が参加し、世間話を楽しみながら完歩しました。ゴールで待っていたのは、手作りの「ぜん

学区ウォーキング大会 体育委運営「ぜんざい」振る舞いも



ざい」。日ごろ、ボランティア活動をしている学区の「地域支えあい」と民生委員のメンバーが準備し、大好評でした。お楽しみ抽せん会もあり、学区のつながりが深まるステキな一日になりました。

今月の題字

6月号は東志賀小1年の谷岡祐希乃さんが梅雨（つゆ）にちなんだイラストを届けてくれました。あざやかなアジサイ、かわいい傘、水たまり、虹、そして女の子の笑顔。カラフルな作品で、雨が続くこの季節を楽しく感じられそうです。イラストは世代を問わず、いつでも募集しています。

学区の情報版

▽コミセン祭り

6月23日(日)10時〜15時。住民の作品展示のほか、プチ縁日などを企画します。家族で楽しめる学区恒例のイベントです。@東志賀コミュニティセンター

▽盆踊り大会

8月3日土曜日夜(予備日は4日)。学区が住民の交流のために開催する一大行事です。夏休みの大事な予定としてチェックを！ @東志賀小学校

電子版新聞

ここから！

過去の東志賀ヒーローズとポランティア通信「ささえあいたより」はここから読むことができます！



よみがえれ！ 東志賀小校舎の魅力

子どもたちが元気に学ぶ東志賀小学校。「私も同じ校舎で育ったよ」という住民も多いことでしょう。黒川東町内会の会長を務め、建築家として活躍する名古屋大名誉教授の谷口さん(75)も、その一人。戦後に建った校舎は、プロの谷口さんの目から見ても「誇れる特長がいっぱい」。連載「よみがえれ校舎の魅力」で、自身の思い出を交えながら魅力をつづつてもらいます。



今から80年ほど前、日本は太平洋戦争を起し、1945年の敗戦まで名古屋にも多大な被害がもたらされました。



序章 谷口さん寄稿 廃虚に建った団地と校舎

この地には神戸製鋼という会社の巨大な工場がありました。空襲で破壊され、廃虚となった姿がこの航空写真です。

地元では戦いから帰ってきた兵士たちが結婚し、たくさんの子どもが生まれ育ちました。私もその一人です。住宅の不足を解消するため、多くの住宅団地が建設されました。最初の一つが志賀住宅(現在のUR)です。そして、神戸製鋼の工場跡地の東南角に、子どもたちが学ぶ東志賀小が建設されました。私たちの世代は校舎が建つ以前の廃墟の水たまりで、ヤゴをつかまえたりして遊んでいました。完成した校舎は、今までにならぬ全く新しい建築技術が用いられた建物でした。その時の感動が、私の将来にも大きく影響しました。(次回に続く)



第63回北区民OB軟式野球優勝

進撃のおやじナイン！



東志賀学区のOBチームが、5月に開かれた北区民軟式野球大会で見事、優勝しました。失点しても諦めない粘り強さと、飲み会で培ったチームワークで、強豪の光城、西味碗学区を撃破。北区の頂点に

立ち、夏に瑞穂球場で開催される名古屋市の本選の出場権を勝ち取りました。OBチームでは児童のジュニアクラブの指導者も多くプレー。この日は、「おやじ」たちがグラウンドの主役になりました。

ソフト&野球 児童を大募集

東志賀ジュニアクラブは、ソフトと野球を一緒に楽しむ児童を大募集中。見学などの問い合わせはQRコードから。



街のニュース&題字募集中です！

- 電話=学区長の山崎悦男さん 090(1277)3131
- メール=天野さん、神藤さん heroeshensyuubu@gmail.com

アメリカ編集室便り



アメリカでも人気者の大谷翔平選手。所属するドジャースの地元・ロサンゼルス市には巨大な壁画が登場し、有名な観光スポットになっています。ワシントン在住の編集長も先日、球場でドジャース戦を観戦。「ゴー、ショーヘイ！」。歓声はチームで1番でした。歴史的に日本人が多く暮らすロスは、名古屋市とも深い縁があります。そのお話は次回号で。(鈴木龍司)





叙勲
消防団一筋 住民守る

春の叙勲が公表され、元東志賀消防団長の廣川俊樹さん(志賀町1丁目)が「瑞宝単光章」を受章しました。「良い仲間恵まれました」。廣川さんは感謝の気持ちで、天皇陛下の拝謁(はいえつ)を受けました。
廣川さんは消防団員として約43年間も活躍されました。学区の防火・防災に尽力され、消

元団長 廣川さん

防署長や消防庁長官をはじめ、市長や知事からも数々の表彰を授与されてきました。
消防団を退団した後は趣味の社交ダンスを楽しみながら、学区のグラウンドゴルフ会長も務め、毎日を有意義に過ごされています。

廣川さんは「身に余る光栄です。早く亡くなった妻に報告しました」と受章を喜び、「長年の消防団活動は、周りの大勢の人たちの支えと協力があったからこそ続けられました」と振り返ります。「これからも健康に注意して頑張ります。感謝！感謝！」と語ってくれました。

皇宮参内については宮中で最も広い豊明殿(280坪)、2番目に広い春秋の間(184坪)に入ることができ、一生の思い出になったそうです。(文章は現・消防団長の犬飼邦雄さん)



志継ぐ消防団員募集

学区のヒーローが集う東志賀消防団は新メンバーを募集しています。対象は18〜65歳。女性や大学生も大歓迎です。

和気あいあいとした雰囲気です。仲間同士で互いの仕事や家庭の事情に配慮し合いながら日々、

任務に当たっています。最近、「地域のつながりを持ちたい」とお父さん世代の団員も続々と誕生しています。費用弁償あり。

火災のほか、災害時にも活躍する消防団に関心のある方は、ぜひ、ご一報ください。

■問い合わせは犬飼団長へ
☎090(3254)8920

集まれ！アーバン子ども会

アーバンラフレ志賀子ども会(アーバン第一、第二、第三町内会)では、アーバン寿会主催の夏子ども会ラジオ体操に参加しています。



夏休み 楽しく元気にラジオ体操

寿会の皆さんと一緒に東志賀公園で、ラジオから流れる音楽に合わせて体を動かします。眠い目をこすりながらやってくるお子さんや保護者も体操が終わる頃にはすっかり目も覚めて元気に。最後にスタンプと心ばかりのお菓子をもらったら一日の始まりです♪期間は7月22日から31日(日曜日はお休み)。楽しみながら規則正しい生活を送るお手伝いができるよう子ども会一同今年も頑張ります！
アーバン子ども会のLINE公式アカウントは、入会するしないに関わらず誰でも登録いただけます。子ども会のイベントをはじめ、地域に密着した情報も配信しています。



8月3日 みんな熱く踊ろう！



8月3日(雨天順延4日)に学区ふれあい盆踊大会が開催されます。ポスターは昨年続いて北陵中1年の真下結太君が担当。ワクワクする作品を仕上げてください。午後6時から東志賀小で。※各団体が企画する模擬店のサポーター住民を募集中。問い合わせはヒーローズ編集部(連絡先裏面)

今月の題字

7月号は東志賀小3年の林紗和さんがイラストを描いてくれました。ヒトデにクラゲ。海をテーマにした涼しげで、かわいらしい作品です。夏休みはもうすぐそこ。暑い日が続きませんが、元気にすごしましょう。イラストは世代を問わず、いつでも募集しています。問い合わせ先は裏面に掲載。

地域を知る 学区のHP

学区の情報が満載の公式ホームページ（HP）をぜひご活用ください。「東志賀」と「Jimdo」でネット検索ができます。



電子版新聞 ここから！

過去のヒーローズとボランティア通信「ささえあいたより」は、こちらで見られます。



ソフト&野球 児童を大募集

学区の支援を受けて活動する東志賀ジュニアクラブは、ソフトと野球を一緒に楽しむ児童を大募集中です。見学会などの問い合わせやチームの情報はこちらのHP。2次元コードからぜひチェックを。



その雄姿に感動 建築家志す

「よみがえれ校舎の魅力」①

東志賀小（当時は金城小の分校）が完成し、私が通い始めたのは4年生の時。1958（昭和33）年の春でした。壁や柱はコンクリートの地肌のまま仕上げられ、窓は鉄の枠に透明ガラスがはめられた開放的な姿が特長でした。従来のタイル貼りや塗装された建物でなく、材料の肌を生かした新たなデザイン。私はその校舎に感動し、建築の世界を目指しました。



ほぼ全面ガラス張りの校舎は話題となり、海

谷口さん寄稿 新時代 象徴するデザイン性



外も含めて見学が絶えなかったようです。その後、痛みを隠すためか、塗装仕上げとなつてしまつたことは残念でした。幼いころは周りに高い建物がなく、遠い南の丘の上に高等裁判所（朝ドラ「虎に翼」の舞台）になつて現在の市政資料館）がそびえているのが印象的でした。中心部には昔ながらのデザインの県庁や市役所、松坂屋などがありました。やがて旧愛知県文化会館や旧NHKをはじめ、目の覚めるような、新しい時代を表現した建物が次々と生み出されました。その姿にあらがれていたところ、新しい校舎が建てられ、感激したのです。

59（昭和34）年には伊勢湾台風が襲い、多くの犠牲者が出ました。家々の瓦や雨戸が飛ばされ、畳の上まで水に浸かり、皆がつらい経験をしました。その反省から61（昭和36）年の第2室戸台風では、安全な校舎への避難が呼びかけられました。ただ、当時の窓ガラスは鉄の枠に粘り気のあるゴム状の材料で止めてある程度。風に負けて吹き飛ばされ、部屋中にガラスが割れて散らばり、怖かつたことを覚えています。（文章・黒川東町内会長の谷口元さん）

ジュニアの先輩大活躍！ 北陵中 市総体ベスト8導く



「あと1勝で県大会だったので悔しいですが、小3でジュニアに入り、中学も5番サードで頑張ってきた」と充実の表情。準々決勝で聖地「瑞穂球場」の土を踏んだ4人は、ジュニアの指導者への恩返しを果たし、大事な仲間とキラリと輝く夏の思い出を手に入れました。

東志賀ジュニアクラブでプレーした北陵中野球部3年生の4人が今夏、市総体でベスト8に進出する大活躍を見せてくれました。

龍之介君は「勝ち進んで、勝敗よりも大切な友情に気付けた最高の夏でした」、二壘手の井村大貴君も「仲間と全力を出して勝ち進み、友情と信頼、諦めない心を得ることができた」と振り返りました。矢野千晶さんは

街のニュース&題字募集中です！

- 電話＝学区長の山崎悦男さん 090(1277)3131
- メール＝天野さん、神藤さん heroeshensyuubu@gmail.com

アメリカ編集室便り



前回はロサンゼルス・ドジャースの大スター、大谷翔平選手の話を紹介しました。実はロス市と名古屋市は友好姉妹都の間柄です。写真はロス市で見つけた各友好都市までの方角と距離を示した看板です。一番上の名古屋までは西へ5633マイル、約9000キロ。遠く離れていますが、姉妹になつて65年目の両市は毎年、交流行事を続けています。（鈴木龍司）



東志賀Jr仲間募集

集まれ！球児

暑さに負けず、東志賀ジュニアのメンバーは元気に白球を追いかけています。学区の応援を受けるチームは1〜6年の児童を大募集中。経験豊富な監督、コーチとOB、保護者が基礎から優しく指導してくれるアットホームな環境で、初心者も大歓迎です。負ける悔しさ、勝つ喜び。個人の成長はもちろんだ、大切な仲間をつくれるチームです。



野球・ソフト アットホームな環境／初心者大歓迎



「僕らと一緒に野球をやろう！」
「初めてでも監督とコーチが優しく教えてくれます。ジュニアは、野球を好きになるきっかけをくれたチーム」と練習をがんばっています。ソフトの主将の廣瀬真土君は「男女、学年に関わらずみんな楽しく練習しています。目標は北区リーグ戦の優勝。打って、投げて、走って一緒に上手になりましょう」と仲間の入団を待ちわびています。気さくな人柄で子どもに大人気の武藤吉範監督は「低学年にはスポーツの楽しさを体感できるように、高学年には技術向上と語り、「見学や体験入部にぜひ来て下さい」と話しています。

チームの情報や見学、体験の問い合わせは公式HPから！



緑日☆作品展☆地域活動の紹介

学区の「交流の場」のコミュニティセンターで6月、恒例の「コミセンまつり」が開かれ、多世代の住民でにぎわいました。有志のメンバーや地元で活動する各団体が、子どもも大人も楽しめるゲームやマルシェ、緑日を企画してくれました。会場では住民が絵画や写真、キルトなど思い思いの作品も展示しました。防災委

コミセンまつり大盛況



員会や消防団、氏子総代会も参加し、学区総出のにぎやかなイベントになりました。行事はつながりの拠点のコミセン(志賀町5)を知ってもらおう絶好の機会。運営に携わってくれた皆さん、今年もお疲れ様でした。

安田さんの野鳥日記

カワセミ@黒川



住民の安田耕治さんが今回は「溪流の宝石」とも言われるカワセミの写真を届けてくれました。近年は都市部でも観察でき、黒川は主に秋から冬が飛来時期。特徴的な「チィ」という鳴き声を覚えていれば、あなたも、その存在に気付くことができるそうです！

今月の題字

8月号は東志賀小4年の酒井菜希さんがイラストを描いてくれました。暑い夏はやつぱり、スイカ！夏休みのワクワク感が伝わってきますね。夏バテに気を付けて、元気に過ごしましょう！イラストは世代を問わず、募集しています。問い合わせは裏面に掲載。

地域を知る 学区のHP

東志賀学区の情報は公式ホームページ（HP）に掲載しています。ぜひ、2次元コードからのぞいてみてください。ネット検索する場合は「東志賀」「Ji m d o」で。



HPは住民の有志がボランティアで運営してくれています。情報の更新作業を手伝って、良いよという方は、ヒーローズ編集部（連絡先は下段）までご連絡ください。

電子版新聞 ここから！

過去の「東志賀ヒーローズ」と、学区のボランティアが住民の困り事の相談に応じている「地域支えあい」のお便りは、こちらから閲覧できます。



実は珍しい！教室のベランダ

「よみがえれ校舎の魅力」②



前回は東志賀小学校の近代的な校舎に感激し、私が建築家を志すようになった思い出話をつづりました。さて、東志賀小に通学している皆さんは、各教室にベランダがついているのが普通と思っているでしょうか。しかし、名古屋はおろか日本中を見回しても、ベランダ付きの校舎はほとんどありません。市内では田代小など一部の校舎にあるだけです。

谷口さん寄稿 校庭とつながる開放感



一般的には教室にはベランダが無く、窓の下には腰壁が付けられていて、児童が外に出られないようになっていきます。当時の設計者は、外部の校庭と内部の教室を開放的につなげようと考えたと思います。災害時の避難経路も廊下とベランダの2方向があり、安全性が高いです。私たちが当時、自由にベランダで遊び、校庭の仲間とキャッチボールをして楽しんだものです。現在は校庭とベランダの間にネットが張られていますので、そのような遊び方はできません。 (名古屋大名着教授で建築家の黒川東町内会長、谷口元さん)

社協・フレンドリークラブ 地域で楽しく介護予防

参加者を募集中

毎週木曜午後、学区のコミュニティセンターで65歳以上を対象に、介護予防や地域活動参加促進などを目的とした「フレンドリークラブ」を開催しています。今回は参加者が手縫いの雑巾を新生東志賀保育園へ寄贈したところ、会場に園児が駆けつけ、参加者は「かわい子たちから元気をもらえたわ」と大喜び。保育園から「大切に使用させていただきます」とお礼があり、園児が歌を披露してくれました。



現在、10月からのフレンドリークラブの参加者を募集中（8月30日）。問い合わせや申し込みは北区社会福祉協議会へ。 (915) 7435

街のニュース&題字募集中です！

- 電話＝学区長の山崎悦男さん 090(1277)3131
- メール＝天野さん、神藤さん heroeshensyuubu@gmail.com

アメリカ編集室便り



砂漠が広がるアリゾナ州はサボテンが名物。近年は、50度を超える日もある超ド級の暑さでも有名です。現地を訪れた筆者はガラガラと照り付ける日差しに、のどはカラカラ、肌はヒリヒリ。「くっの裏が溶けた」とのニュースも流れる地元は山火事と水不足に困っています。サボテンの生命力に感心しつつ、地球温暖化の深刻さを考えさせられました。(鈴木龍司)

2024年(令和6年)
9月号(第40号)
発行：東志賀学区
連絡協議会



夏の思い出 学区盆踊り

一丸！ふれあいの祭典

東志賀学区ふれあい盆踊り大会(8月3日)が今夏も盛大に開催されました。和太鼓のリズムに合わせて楽しみに踊る住民の輪。文字通り学区で暮らす人たちが、ふれあい、絆を深め合うイベントになりました。子どもたちにとってもステキな夏休みの思い出になったはずです。恒例の盆踊りは、日ごろ、地域で活躍してくれている学区の各種団体や各町内会の役員らが手弁当で企画、運営をしています。学童保育所や子ども会、ジュニアクラブ、子ども食堂も屋台や縁日の運営に協力。当日のやぐらの設営から翌朝の掃除まで、裏方さんたちが「総力戦」で、一大行事をつくり上げました。



笑顔咲く 多世代踊りの輪



汗

やぐら準備



屋台&縁日

熱い思い

「地元の大事なイベントだから」。熱い思いを持つ住民が集まり、やぐらを組み上げます。縁日や屋台の買い出しと搬入。熱帯夜となった当日、高温の鉄板と格闘しながら、行列をつくる住民のために、焼きそばやフランクフルトを調理するヒーローの姿もありました。笑顔で踊る住民の姿や、縁日を楽しむ子どもたちの歓声が清涼剤となりました。有志のメンバーは翌日、校庭の清掃もしてくれました。住民の心意気で成り立つ盆踊り。学区や町内会は役員の高齢化も進み、若い世代の住民とさらに連携を深める仕組みを模索中です。



今月の題字 節目の40号となる9月号の題字は、東志賀小1年の酒井晴喜君が、イラストを届けてくれました。カッコいいトラやライオン。楽しみながら描く酒井君の様子が伝わってくる作品ですね。手描きの題字は世代を問わずに募集しています。応募は編集部(連絡先は裏面)まで。

学区長の山崎悦男さんは「経験のある役員さんと若い世代の人が力を合わせ、とても良いイベントになりました。特に今年は若い人と子どもたちがたくさん会場に来てくれて、すごく盛り上がりました」と振り返りました。

翌日 後片付け



MOIYAIICO 講演&見学会 十月十六日

北区を拠点に障がいのある人たちの暮らしを支援している認定NPO法人「ポパイ」の活動を知り、連携を考へる行事が十月十六日(水)午前中に開かれます。法人は「分けっこ」を意味する名古屋弁の「MOIYAIICO(もいやいこ)」をテーマに、人や地域とつながり、役割を得て豊かに暮らすことを目指して活動。当日は十時から北区生涯学習センター第二集会所でポパイ理事長の山口未樹さんが講演し、十一時半まで法人の施設を見学します。参加無料。申し込み不要。問い合わせは水曜と金曜の午前中に学区支援あい事業の相談窓口(☎080743511)へ。

僕も、私もお祭りの主役！ 7月末に開かれたアーバン夏祭りでは、かわいいキッズがダンスと火踊りを披露。そして司会進行でもマイクを握り、大成功の夏祭りの立役者になりました。



アーバン夏祭り☆キッズが主役☆

イベントは毎年、団地の5町内会が企画しています。お祭りは子どもたちの開会宣言でスタート。「きらり☆キッズ」の元気いっぱいダンス、学童保育所の児童の火踊りが会場を盛り上げ、保護者の方からは「ステキな思い出になりました」と感謝の言葉が。準備をしてくれた町内会、各種団体の皆さん、暑い中、ありがとうございました。



社会を明るくする運動

作文・宇野さん表彰

第74回「社会を明るくする運動」北区大会が7月、北文化小劇場で開催され、犯罪と非行のない明るい社会を築こうと呼びかけました。北陵中学校と東志賀小学校などには横

断幕やのぼり旗が掲げられ、保護司らが啓発活動を行いました。



大会に伴い、児童生徒の作文コンクールがあり、東志賀小6年の宇野由依菜さんが表彰を受けました。(文章は学区保護司会会長 岡田常晴さん)
◇学区では青少年を含めた人の立ち直り、社会復帰支援のために保護司さんが活躍してくれています。

わくぐり神事 猛暑乗り切って 氏子総代が茅の輪手作り



無病息災を祈願する「わくぐりまつり 茅輪神事」が7月、学区の住民が管理する兒子八幡社で開かれました。日ごろ、神社の世話をしている氏子総代会の役員さんたちは今夏も茅を刈りに出かけ、立派な輪を手作りしてくれました。神事は健康を願うた

めのもの。「猛暑を元気に乗り切ってほしい」という役員の方々の熱意に感謝しながら、大勢の住民が輪をくぐ

りました。兒子八幡社はマルシェ「ちごいち」が開催されるなど、住民の交流の場になっています。氏子総代会は神社の管理を手伝ってくれる住民を募集中です。問い合わせは氏子総代会長の佐々木征一郎さん(☎08051359634)へ。

アメリカ力編集室便り



79年前の夏、広島と長崎に原子爆弾が落とされ、多くの人が亡くなり、つらい思いをしました。ワシントン近郊の博物館には原爆を投下した米軍機「エノラ・ゲイ」が展示されています。夏休みとあわせて、博物館には親子の姿が目立ちました。戦争の恐ろしさと悲しさ、むなしさ。巨大な機体を見て、私も強く実感しました。どの時代も平和が一番ですね。(鈴木龍司)

街のニュース&題字募集中です!

■電話=学区長の山崎悦男さん 090(1277)3131
■メール=天野さん、神藤さん heroeshensyuubu@gmail.com